

今後の取組み

■浜名湖エコワークショップ

市民レベルで浜名湖の環境に関するデータを収集していくために、浜名湖の湖岸の状況を湖面側や陸側から調査する場所や方法などを試行として検証していきます。

- 日程 1月中下旬の平日 現地調査（湖岸からの調査）
2月上旬の土曜日 現地調査（船利用して湖からの調査）



■浜名湖環境保全団体交流会

浜名湖の環境保全・活用に取組む団体や企業が集まり、互いの活動を知り合い、交流・連携につなげていく場があります。環境に関して取組む実践者を招いた講演会も計画しています。

- 日程 2月20日（土）13:30～
- 内容 話題提供（県外の環境保全団体を講師として予定）
当ネットワークの取組み報告
団体の環境に関する活動について報告
意見交換



■浜名湖に関する県・市などの団体交流・連携事業

●浜名湖サイクリングロード社会実験

国土交通省の社会実験で三ヶ日町瀬戸「浜名湖遊覧船」発着所の中にエコな乗り物である「自転車ミュージアム」が開設。

浜名湖が全国のサイクリング大会発祥の地であることをPRし、国内・海外のクラシックな自転車コレクションが展示されています。

- 期間 平成28年3月21日まで（入館無料）



●浜名湖魅力発信隊交流会

浜名湖周辺において、歴史・文化、自然環境、観光、まちづくりなどの活動を通じて内外に浜名湖の魅力を発信している団体・企業の発表会・交流会が開催されます。

- 日時 1月16日（土）13:30～16:30
（午前中は希望者によりエクスカーションあり）
- 場所 みをつくし文化センター（浜松市北区区役所前）
- 参加 無料（自転車×天浜線のエクスカーションは有料）
- 主催 静岡県西部地域政策局
- 問合せ NPO法人地域づくりサポートネット（電話053-458-3480）
浜名湖魅力発信隊サイト <http://www.hamanako-mh.net/>



はまなこ環境ネットワーク 広報誌

はまなこ環境通信

発行／はまなこ環境ネットワーク

発行日／平成27年12月28日

事務局／NPO法人地域づくりサポートネット

浜松市中区常盤町133-13 TEL053-458-3480

Eメール info@shizuoka-t.net

第26号

活動：浜名湖の環境に関するデータを収集！

はまなこ環境ネットワークでは、浜名湖の環境保全を進めていくために、各団体が連携して環境に関するデータを収集し、発信していくことに取り組んでいます。データを集める活動にネットワークの団体の参加が必要になります。ぜひその活動への参加やお持ちの情報を寄せてください。



■浜名湖流域の主な外来種

- 哺乳類 アライグマ
- 両生類 ウシガエル
- 魚類 オオクチバス、ブルーギル、カダヤシ
- 植物 オオキンケイギク
- 要注意外来種
- 爬虫類 ミシシippiaアカミミガメ
- 貝類 スクミリンゴガイ
- 甲殻類 アメリカザリガニ
- 植物 オオカナダモ、コカナダモ
- その他
- 哺乳類 ハクビシン

■代表的な貴重種

- 両生類：ナゴヤダルマガエルノ
- 鳥類：サシバ、ハヤブサ、ミサゴ、コアジサシ、イカルチドリ、セイタカシギ
- 昆虫類：ヒメマイトトンボノ
- 魚類：ヤリタナゴ、スジシマドジョウ、スナウヤツメ、メダカノ
- 貝類：マツカサガイノ
- 植物：ウラギク、コアマモ

出典：H21/22浜松市生物多様性調査

■浜名湖の絶滅危惧種

- 植物 19種
- 鳥類 28種
- 淡水魚類 12種
- 両生類 4種
- 爬虫類 1種
- 貝類 4種
- 昆虫類 11種

合計 79種

出典：静岡県版レッドデータブックより

【事務局からのお願い】 団体のイベントや活動情報をお寄せください。

E-mail info@shizuoka-t.net 電話 053-458-3480 FAX 053-455-0328

平成27年度浜名湖のアマモ・アオサ活用の取組み

○浜名湖のアマモ回収

7月19日(日)浜名湖の館山寺温泉サンビーチ海岸で湖岸に打ち上げられたアマモ・アオサを回収する作業を行いました。



湖岸のアマモ・アオサを回収



今年は、春～初夏にアオサが湖岸に漂着していましたが、7月に入るとアマモは少ない状況になっていましたが、その原因は不明です。参加者は暑い中、一生懸命に回収作業しました。

○9/5 浜名湖のアマモ活用した野菜の種まき

9月5日(土)浜松市西区村楯町の「NPO法人むらちゃんえっと」の管理する畑で回収したアマモ・アオサを入れながら大根のタネをまきました。アマモ・アオサに竹のパウダーを混ぜて発酵を促進させる実験を行いました。



▲アマモ・アオサを畑に敷き込む作業



▲むらちゃんえっとの指導で大根のタネをまく

○12/21 浜名湖のアマモ活用した野菜の収穫

9月に種まきをした畑の大根が育ち、12月21日(土)に急ぎょ収穫しました。例年は1月中旬～2月に収穫していましたが、今年は暖冬の影響で、野菜が育ちすぎたことから、年末の収穫となりました。

子どもたちは、力を合わせて大きな大根を収穫しました。

収穫した大根は参加者のおみやげ



～活動団体の取組み～

当ネットワークに登録する団体等の活動現場を訪問し、活動の見学や取組みを取材しました。

■浜名漁協弁天島遊船組合

浜名湖で漁を行う現役の漁師さんの組合です。漁船を使っての浜名湖の案内、潮干狩り場の運営や浜名湖内での体験学習機会の提供を行っています。舞阪町弁天島の「イカリ瀬」で干潟のいきもの観察やアサリの保護活動、アサリの天敵・ツメタガイの駆除などの活動もしています。



アサリの保護について学ぶ

「浜名湖を紹介するテレビ番組の取材」

遊船組合では浜名湖のいきもの観察やテレビ局の取材のため、船で浜名湖を案内したりもしています。11月中旬に長野県のテレビ局の収録があり、その様子を取材してきました。

映画「釣りバカ日誌」で、浜崎家の隣に住む釣り船屋の主人「太田八郎」がハマリ役で、レギュラー出演している「アパッチけん」と長野放送局のアナウンサーが、浜名大橋を紹介する番組です。



テレビ局の取材協力

組合長の間瀬さんと、浜名湖の魚の話で盛り上がり、和気あいあいとした船旅でした。

東京都出身の「けんさん」の趣味は「ガサガサ」(水際の草が生い茂っているところの川遊び)と投網だそうで、『多摩川塾』と題して子どもたちに多摩川での川遊びを教えたり、多摩川に棲息するいきもの観察をしたりする環境保護の活動を続けているそうです。

■NPO法人 ひずるしい鎮玉

鎮玉地区(浜松市北区引佐町の北部)の農地や山林の活用・保全事業、地域資源発信事業等を行い、地域の活性化、交流人口や定住人口の増加及び環境の保全・再生に取り組んでいる団体です。

メンバーがピオトープを手づくりして、いきもの観察会なども行っています。

「鎮玉・日比平農場 2016年度 田んぼオーナー募集」

高齢化と人口減少により増加した耕作放棄地対策として、遊休農地を活用した米づくりに取り組んでいます。都市部にお住いのオーナーの力を借りて、昔ながらの豊かな里山の環境を守るため、「田んぼオーナー」を募集しています。

1区画(約100㎡)、3万円で、栽培管理費や苗代も含まれます。秋には玄米30kgが収穫できます。興味のある方は参加してみたいですか。

「～植物の力と薬草～講座のご案内」

2月5日(金)にメンバーで環境カウンセラーの桑鶴さんが講師となって、鎮玉地区の薬草についての講演会が開催される予定です。

地域で古くから使われている植物の持つ不思議な力や薬草の効能などの貴重なお話を聞くことができます。

問合せ ☎053-544-1045 E-mail: info@shizutama.jp



田畑オーナー制度の稲刈り



ドクダミ

スイカズラ(徳川家康もお酒で愛用)